旦過以書
天正十九年九月九日当座

菊花薫袖

うつろはぬ露のゆかりはかむはしき
袖よきての菊の香ぞへ
おもはぬ色のほかはあはれにぞみえ
霧より袖の香ぞあまりにも
つねならぬたもとにあまき袖の香
ことしはをりしさ梅の香菊

實條